

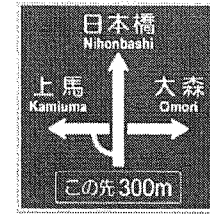
| 基準の案                                      | 参考とすべき基準   | 類型       |
|---|--|----------|
| <p>備考</p> <p>1 本標識板(本標識の表示板をいう。)規定対象外</p> | <p>備考</p> <p>二 本標識板(本標識の表示板をいう。)</p> <p>(一) 表示</p> <p>1 案内標識(「サービス・エリアの予告」、「サービス・エリア」、「非常電話」、「非常駐車帯」、「駐車場」、「登坂車線」、「総重量限度緩和指定道路」(「総重量限度緩和指定道路(118の3-B)」にあつては、矢形を除く。)<u>及び「高さ限度緩和指定道路」(「高さ限度緩和指定道路(118の4-B)」及び「高さ限度緩和指定道路(118の4-D)」にあつては、矢形を除く。)</u>を表示するものを除く。)<u>「T形(又は「十」形)道路交差点あり」、「右(又は左)方屈曲あり」、「右(又は左)方屈折あり」、「右(又は左)背向屈曲あり」、「右(又は左)背向屈折あり」、「右(又は左)つづら折りあり」、「落石のおそれあり」、「合流交通あり」、「車線数減少」、「幅員減少」、「上り急勾配あり」、「下り急勾配あり」及び「動物が飛び出すおそれあり」を表示する警戒標識、「車両(組合せ)通行止め」、「指定方向外進行禁止」、「時間制限駐車区間」、「重量制限」、「高さ制限」、「最大幅」、「最高速度」、「特定の種類の車両の最高速度」、「最低速度」、「一方通行(326-A)」、「車両通行区分」、「特定の種類の車両の通行区分」、「牽引自動車の高速自動車国道通行区分」、「専用通行帯」、「普通自転車専用通行帯」及び「進行方向別通行区分」を表示する規制標識並びに「規制予告」を表示する指示標識に係る図示の文字(数字を含む。(五)の2を除き、以下同じ。)</u>及び記号(「時間制限駐車区間」にあつては、「60」に限る。は、例示とする。</p> <p>2 高速道路等以外の道路に設置する案内標識(「著名地点(114-A・B)」、「登坂車線(117の2-A)」、「国道番号(118-A)」、「道路の通称名(119-A・B)」及び「まわり道(120-A)」を表示するものを除く。)については、ローマ字は、特に必要がない場合は、省略することができる。</p> | <p>—</p> |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

| 基準の案 | 参考とすべき基準   | 類型 |
|------|--|----|
|      | <p>3 「市町村」を表示する案内標識の標示板には、必要がある場合は、日本字の左に市町村章を表す記号を表示することができる。</p> <p>4 「都府県」を表示する案内標識の標示板には、必要がある場合は、日本字の左に都府県章を表す記号を表示することができる。</p> <p>5 高速道路等以外の道路に設置する「方面、方向及び距離」、「方面及び距離」、「方面及び方向の予告」、「方面及び方向」、「方面、方向及び道路の通称名の予告」及び「方面、方向及び道路の通称名」を表示する案内標識の標示板の文字には、地名、路線番号、道路の通称名又は公共施設等の名称のいずれかを用いることができ、当該標示板の文字に公共施設等の名称を用いた場合において必要があるときは、当該標示板に公共施設等の形状等を表す記号を表示することができる</p> <p>6 高速道路等以外の道路に設置する「方面、方向及び距離」、「方面及び距離」、「方面及び方向の予告」、「方面及び方向」、「方面、方向及び道路の通称名の予告」及び「方面、方向及び道路の通称名」を表示する案内標識の標示板には、必要がある場合には、次に図示したものに準じて経由路線を表示することができる。</p> <div data-bbox="1352 1107 1641 1337" data-label="Image"> </div> |    |

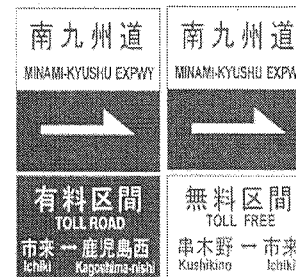
※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

7 高速道路等以外の道路に設置する「方面及び方向の予告」及び「方面、方向及び道路の通称名の予告」を表示する案内標識の標示板は、交差点までの距離について、必要がある場合は、次に図示したものに準ずるものとすることができる。



8 高速道路等に設置する「方面及び車線」、「方面及び方向」、「方面及び出口の予告」、「方面、車線及び出口の予告」及び「方面及び出口」を表示する案内標識の標示板の文字には、地名、路線番号、道路の通称名又は公共施設等の名称のいずれかを用いることができ、当該標示板の文字に公共施設等の名称を用いた場合において必要があるときは、当該標示板に公共施設等の形状等を表す記号を表示することができる。

9 「入口の方向」及び「入口の予告」を表示する案内標識には、必要がある場合は、次に図示したものに準じて、無料区間又は有料区間を表す旨を表示することができる。



※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

- 10 都市高速道路等に設置する「方面及び方向」を表示する案内標識の標示板には、必要がある場合は、次に図示したものに準じて経由路線又は方面としての路線を表示することができる。



- 11 「方面及び距離」を表示する案内標識については、距離に関する部分は、特に必要がない場合は、省略することができる。
- 12 「出口」を表示する案内標識については、出口番号及び出口の名称に関する部分は、特に必要がない場合は、省略することができる。
- 13 「著名地点」を表示する案内標識の標示板には、必要がある場合は、日本字の左又は右に公共施設等の形状等を表す記号を表示することができる。
- 14 「著名地点」を表示する案内標識の標示板には、必要がある場合は、次に図示したものに準じて、日本字の左又は右に車いすを使用している者その他の高齢者、身体障害者等の円滑な通行に適する道路を経由する旨を表す記号を表示することができる。



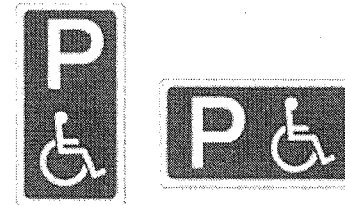
15 「著名地点」を表示する案内標識には、必要ある場合は、当該案内標識の位置、当該案内標識が表示する著名地点の位置及び表示する必要のある立体横断施設その他の施設の位置を表示する地図(その略図を含む。)を附置することができる。

16 「サービス・エリアの予告」及び「サービス・エリア」を表示する案内標識の標示板の記号は、当該サービス・エリアに設置されている休憩所、給油所、自動車修理所又は駐車場を表示するものとし、標示板の配列及び文字は、例示とする。

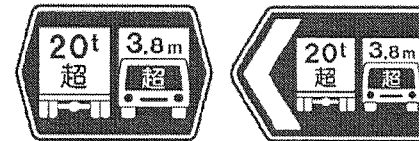
17 高速道路等以外の道路に設置する「駐車場」を表示する案内標識の標示板には、必要がある場合は、次に図示したものに準じて便所を表す記号を表示することができる。



18 「駐車場」、「エレベーター」、「傾斜路」及び「便所」を表示する案内標識の標示板には、必要がある場合は、次に図示したものに準じて車いすを使用している者その他の高齢者、身体障害者等の円滑な利用に適する施設である旨を表す記号を表示することができる。

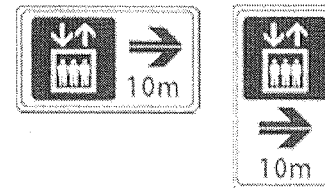


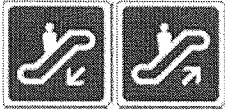
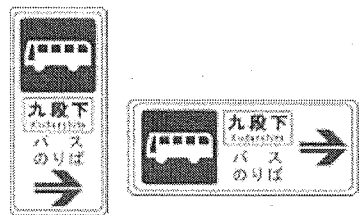
19 「総重量限度緩和指定道路(118の3-A・B)」及び「高さ限度緩和指定道路(118の4-A・B)」を表示する案内標識の標示板を設置する地点が同一であつて必要がある場合は、次に図示したものに準じて総重量限度緩和指定道路及び高さ限度緩和指定道路を表す旨を表示することができる。



20 「まわり道(120-B)」を表示する案内標識の標示板の記号のうち、交通の規制を表示する記号は、規制標識に係る様式を用いるものとし、当該規制標識が表示する交通の規制が、当該道路の前方の場所において行われていることを示す。

21 「エレベーター」、「エスカレーター」、「傾斜路」、「乗合自動車停留所」、「路面電車停留場」及び「便所」を表示する案内標識の標示板には、必要がある場合は、次に図示したものに準じて当該施設の設置場所までの距離を表示することができる。



| 基準の案 | 参考とすべき基準   | 類型 |
|------|--|----|
|      | <p>22 「エスカレーター」を表示する案内標識の標示板には、<u>必要がある場合は、次に図示したものに準じて昇降方向を表す矢印を表示することができる。</u></p>  <p>23 「乗合自動車停留所」及び「路面電車停留場」を表示する案内標識の標示板には、<u>必要がある場合は、次に図示したものに準じて当該停車所の名称を表示することができる。</u></p>  <p>24 児童又は幼児が小学校、幼稚園、保育所等に通うため通行する道路の区間で小学校、幼稚園、保育所等の敷地の出入口から1キロメートル以内の地点に設置する「学校、幼稚園、保育所等あり」を表示する警戒標識には、<u>「通学路」を表示する補助標識を附置するものとする。</u></p> <p>25 「信号機あり」を表示する警戒標識の標示板の記号は、<u>特に必要がある場合においては、縦にすることができる。</u></p> <p>26 「上り急勾配あり」及び「下り急勾配あり」に係る図示の数字は、<u>当該上り急勾配又は下り急勾配の勾配の値を示す。</u></p> |    |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

| 基準の案 | 参考とすべき基準  | 類型 |
|------|---|----|
|      | <p>27 「<u>車両(組合せ)行止め</u>」を表示する規制標識の標示板の標記は、「<u>二輪の自動車以外の自動車通行止め</u>」、「<u>大型貨物自動車等通行止め</u>」、「<u>大型乗用自動車等通行止め</u>」、「<u>二輪の自動車・原動機付自転車通行止め</u>」、「<u>自転車以外の軽車両通行止め</u>」及び「<u>自転車通行止め</u>」を表示する規制標識に係る図示の記号を用いるものとし、その記号は当該規制標識が表示する通行の禁止に係る種類の車両を表示するものとする。</p> <p>28 「<u>特定の最大積載量以上の貨物自動車等通行止め</u>」を表示する本標識には「<u>車両の種類(503-C)</u>」を表示する補助標識を、「<u>駐車余地</u>」を表示する本標識には「<u>駐車余地</u>」を表示する補助標識を、「<u>特定の種類の車両の最高速度</u>」を表示する本標識には「<u>車両の種類(503-A)</u>」を表示する補助標識を、「<u>警笛区間</u>」を表示する本標識には「<u>始まり(505-A・B)</u>」、「<u>区間内</u>」又は「<u>終わり(507-B・C)</u>」を表示する補助標識を、「<u>追越し禁止</u>」を表示する本標識には「<u>追越し禁止</u>」を表示する補助標識を、「<u>前方優先道路</u>」を表示する本標識には「<u>前方優先道路</u>」を表示する補助標識を、「<u>高齢運転者等標章自動車駐車可</u>」及び「<u>高齢運転者等標章自動車停車可</u>」を表示する本標識に「<u>車両の種類(503-D)</u>」を表示する標識を、それぞれ附置するものとする。</p> <p>29 「<u>駐停車禁止</u>」、「<u>駐車禁止</u>」、「<u>駐車余地</u>」及び「<u>時間制限駐車区間</u>」に係る図示の数字(「<u>時間制限駐車区間</u>」にあっては、「<u>8-20</u>」に限る。)は、当該交通の規制が行われている時間を示す必要がある場合における当該時間の例示とし、図示の「<u>8-20</u>」は、8時から20時までであることを示す。</p> |    |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。



| 基準の案 | 参考とすべき基準   | 類型 |
|------|--|----|
|      | <p>30 「<u>時間制限駐車区間</u>」、「<u>高さ制限</u>」、「<u>最大幅</u>」、「<u>重量制限</u>」、「<u>最高速度</u>」、「<u>特定の種類の車両の最高速度</u>及び「<u>最低速度を表示する規制標識の標示板に示される時29に規定するものを除く。</u>）高さ及び幅、重量又は速度の単位は、それぞれ分、メートル、トン又はキロメートル毎時とする。</p> <p>31 「<u>自転車及び歩行者専用</u>」、「<u>平行駐車</u>」、「<u>直角駐車</u>」及び「<u>斜め駐車</u>」を表示する規制標識並びに「<u>横断歩道</u>」、「<u>自転車横断帯</u>」及び「<u>横断歩道・自転車横断帯</u>」を表示する指示標識の標示板については、特に必要がある場合においては、当該標示板の記号の鏡像である記号を用いることができる。</p> <p>32 「<u>専用通行帯</u>」を表示する規制標識の標示板については、必要がある場合においては、次に図示したものに準じて、記号に代えて文字を用いることができる</p> <div data-bbox="1368 863 1581 1082" data-label="Image"> </div> <p>33 「<u>規制予告</u>」を表示する指示標識の標示板の記号は、<u>規制標識又は指示標識に係る様式を用いるものとし、当該規制標識又は指示標識が表示する交通の規制が、当該道路の前方の場所において行われていることを示す。</u></p> |    |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。



| 基準の案   | 参考とすべき基準  | 類型             |
|--|---|----------------|
| <p>イ 「駐車場」を表示する案内標識については、便所を表す記号を表示する場合にあっては、図示の横寸法を図示の寸法の2.5倍まで拡大することができる。</p>  | <p>5 <u>高速道路等以外の道路に設置する「駐車場」</u>を表示する案内標識については、便所を表す記号を表示する場合にあっては、図示の横寸法を図示の寸法の2.5倍まで拡大することができる。</p>   | <p>参酌すべき基準</p> |
| <p>ウ 「駐車場」、「総重量限度緩和指定道路(118の3-A・B)」、「高さ限度緩和指定道路(118の4-A・B)」及び「まわり道(120-A)」を表示する案内標識並びに警戒標識については、道路の形状又は交通の状況により特別の必要がある場合にあっては図示の寸法(5に規定するところにより図示の横寸法を拡大する場合にあっては、当該拡大後の図示の寸法)の1.3倍、1.6倍又は2倍に、それぞれ拡大することができる。</p> | <p>6 <u>高速道路等以外の道路に設置する「駐車場」、「国道番号(118-A)」、「都道府県道番号(118の2-A)」、「総重量限度緩和指定道路(118の3-A・B)」、「高さ限度緩和指定道路(118の4-A・B)」及び「まわり道(120-A)」</u>を表示する案内標識並びに警戒標識については、道路の形状又は交通の状況により特別の必要がある場合にあっては図示の寸法(5に規定するところにより図示の横寸法を拡大する場合にあっては、当該拡大後の図示の寸法)の1.3倍、1.6倍又は2倍に、それぞれ拡大することができる。</p> | <p>参酌すべき基準</p> |
| <p>エ 「道路の通称名」を表示する案内標識については、道路の形状又は交通の状況により特別の必要がある場合にあっては、図示の寸法の1.5倍又は2倍に、それぞれ拡大することができる。</p>   | <p>7 <u>高速道路等以外の道路に設置する「登坂車線」、「国道番号(118-B・C)」、「都道府県道番号(118の2-B・C)」及び「道路の通称名」</u>を表示する案内標識については、道路の形状又は交通の状況により特別の必要がある場合にあっては、図示の寸法の1.5倍又は2倍に、それぞれ拡大することができる。</p>   | <p>参酌すべき基準</p> |
| <p>オ 「道路の通称名」を表示する案内標識については、表示する文字の字数により図示の横寸法(「道路の通称名(119-C)」を表示するものについては、縦寸法)を拡大することができる。</p>  | <p>8 <u>高速道路等以外の道路に設置する「道路の通称名」</u>を表示する案内標識については、表示する文字の字数により図示の横寸法(「道路の通称名(119-C)」を表示するものについては、縦寸法)を拡大することができる。</p>   | <p>参酌すべき基準</p> |
| <p>規定対象外</p>   | <p>9 <u>規制標識及び指示標識</u>については、<u>道路の設計速度、道路の形状又は交通の状況により特別の必要がある場合にあっては、図示の寸法の2倍まで拡大し、又は図示の寸法の2分の1まで縮小することができる。</u></p>   | <p>—</p>       |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

| 基準の案  | 参考とすべき基準   | 類型 |
|-------|--|----|
| 規定対象外 | <p>10 「<u>車両進入禁止</u>」を表示する規制標識の標示板については、横の直径が縦の直径の1.5倍以下である長円形の曲板を用いることができる。</p>   | —  |
| 規定対象外 | <p>(三) 色彩</p> <p>1 案内標識</p> <p>(1) <u>高速道路等に設置するもので、「入口の方向」、「入口の予告」、「非常電話」、「待避所」、「非常駐車帯」、「国道番号(118-A)」、「高さ限度緩和指定道路(118の4-C・D)」及び「まわり道」を表示するもの以外のものについては、文字、記号及び区分線を白色、地を緑色とする。ただし、「方面及び距離(106-B)」、「出口の予告」、「方面及び出口の予告」、「方面、車線及び出口の予告」、「方面及び出口」及び「出口」を表示するものの出口番号を表示する部分並びに「サービス・エリアの予告」及び「サービス・エリア」を表示するものの施設名を表示する部分については、文字を緑色、地を白色とし、「方面及び出口の予告(110-A)」及び「方面及び出口(112-A)」を表示するものの「国道番号(118-A)」を表示する部分については、文字を白色、地を青色とする。</u></p> <p>(2) 「<u>入口の方向</u>」及び「<u>入口の予告</u>」を表示するものについては、上部の文字を緑色、地を白色とし、下部の文字及び矢印を白色、地を緑色とする。ただし、別表第2備考一の(一)の9の規定により無料区間を表す旨を表示する場合には当該無料区間を表す旨を表示する部分の文字を緑色、地を白色とし、有料区間を表す旨を表示する場合には当該有料区間を表す旨を表示する部分の文字を白色、地を緑色とする。</p> <p>(3) 「<u>非常電話</u>」を表示するものについては、文字及び地を白色、記号を黒色、わくを緑色とする。</p> | —  |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

| 基準の案 | 参考とすべき基準  | 類型 |
|------|---|----|
|      | <p>(4) 「待避所」及び「国道番号(118-A)」を表示するものについては、文字、記号及び縁を白色、地を青色とする。</p> <p>(5) 「非常駐車帯」を表示するものについては、文字及び記号を白色、地を緑色とする。</p> <p>(6) 高速道路等のうち車両制限令第三条第一項第三号に規定する道路管理者が指定した道路に設置する「高さ限度緩和指定道路(118の4-C)」を表示するものについては、記号中の文字及び地を緑色、記号外の文字及び記号を白色とする。</p> <p>(7) 高速道路等のうち車両制限令第三条第一項第三号に規定する道路管理者が指定した道路に設置する「高さ限度緩和指定道路(118の4-D)」を表示するものについては、記号中の文字及び地を緑色、記号外の文字、記号及び矢形を白色とする。</p> <p>(8) 「まわり道(120-A)」を表示するものについては、文字及びわくを青色、矢印を赤色、地を白色とする。</p> <p>(9) 「まわり道(120-B)」を表示するものについては、通行の禁止、制限又は指定を表示する記号は、標示板に表示する当該規制標識の種類に応じて別表第2備考一の(三)の3に規定するところによるものとし、文字、道路を表示する記号及び縁を白色、矢印を黒色、地を青色とする。</p> <p>(10) 高速道路等以外の道路に設置する「市町村」、「都府県」、「著名地点」及び「主要地点」を表示するものについては、文字、記号、矢印及び縁線を青色、縁及び地を白色とする。</p> |    |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

| 基準の案 | 参考とすべき基準  | 類型 |
|------|---|----|
|      | <p>(11) 「<u>方面、方向及び距離</u>」を表示するものについては、<u>文字、記号、矢印及び縁を白色、地を青色とする。ただし、方面として高速道路等の通称名を表示する部分については、文字、矢印及び縁を白色、地を緑色とする。</u></p> <p>(12) <u>高速道路等以外の道路に設置する「方向及び距離」、「駐車場」、「登坂車線」、「都道府県道番号(118の2-A)」、「エレベーター(121-C)」、「エスカレーター(122-C)」、「傾斜路(123-C)」及び「便所(126-C)」</u>を表示するものについては、<u>文字、記号、矢印及び縁を白色、地を青色とする。</u></p> <p>(13) <u>高速道路等以外の道路に設置する「方面及び方向の予告」及び「方面及び方向」</u>を表示するものについては、<u>文字、記号、矢印及び縁を白色、地を青色とする。ただし、方面として高速道路等の通称名を表示する場合には、次に図示したものに準じて、当該通称名を表示する部分を白色の区分線で囲むとともに、当該部分の文字を白色、地を緑色とする。</u></p> <div data-bbox="1330 895 1624 1126" data-label="Diagram"> </div> <p>(14) 「<u>方面、方向及び道路の通称名の予告</u>」及び「<u>方面、方向及び道路の通称名</u>」を表示するものについては、<u>記号、矢印、縁及び矢印外の文字を白色、矢印中の文字、区分線及び地を青色とする。</u></p> |    |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

| 基準の案 | 参考とすべき基準   | 類型 |
|------|--|----|
|      | <p>(15) <u>高速道路等以外の道路に設置する「国道番号(118-B・C)」を表示するものについては、文字、縁及び区分線を白色、地を青色、矢形を淡い赤色とする。</u></p> <p>(16) <u>高速道路等以外の道路に設置する「都道府県道番号(118の2-B・C)」を表示するものについては、文字、縁及び区分線を白色、地を青色、矢形を淡い黄色(道路法第56条の規定に基づき国土交通大臣が指定した主要な都道府県道に係るものにあつては、淡い緑色)とする。</u></p> <p>(17) <u>車両制限令第3条第1項第2号イに規定する道路管理者が指定した道路に設置する「総重量限度緩和指定道路(118の3-A)」を表示するものについては、文字、縁及び地を青色、記号及び縁線を白色とする。</u></p> <p>(18) <u>車両制限令第3条第1項第2号イに規定する道路管理者が指定した道路に設置する「総重量限度緩和指定道路(118の3-B)」を表示するものについては、文字、縁及び地を青色、記号、矢形及び縁線を白色とする。</u></p> <p>(19) <u>高速道路等以外の道路のうち車両制限令第三条第一項第三号に規定する道路管理者が指定した道路に設置する「高さ限度緩和指定道路(118の4-A)」を表示するものについては、記号中の文字、縁及び地を青色、記号外の文字、記号及び縁線を白地とする。</u></p> <p>(20) <u>高速道路等以外の道路のうち車両制限令第三条第一項第三号に規定する道路管理者が指定した道路に設置する「高さ限度緩和指定道路(118の4-B)」を表示するものについては、記号中の文字、縁及び地を青色、記号外の文字、記号、矢形及び縁線を白色とする。</u></p> |    |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

| 基準の案 | 参考とすべき基準   | 類型 |
|------|--|----|
|      | <p>(21) <u>高速道路等以外の道路に設置する「道路の通称名」を表示するものについては、文字及び地を青色、矢形及び縁を白色とする。</u></p> <p>(22) <u>「エレベーター(121-A・B)」、「エスカレーター(122-A・B)」、「傾斜路(123-A・B)」及び「便所(126-A・B)」を表示するものについては、記号を青色の地に白色、矢印及び縁線を青色、縁及び地を白色とする。</u></p> <p>(23) <u>「乗合自動車停留所」及び「路面電車停留場」を表示するものについては、文字、矢印及び縁線を青色、記号を青色の地に白色、縁及び地を白色とする。</u></p> <p>2 警戒標識<br/> <u>縁線、文字及び記号を黒色、縁及び地を黄色とする。ただし、「信号機あり」を表示するものについては記号の地を黒色、円形の記号を右から赤色、黄色、青色(別表第2備考一の(一)の8の規定により記号を縦にする場合においては、円形の記号を上から赤色、黄色、青色)とし、「上り急勾配あり」及び「下り急勾配あり」を表示するものについては矢印を白色とする。</u></p> <p>3 規制標識</p> |    |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。



| 基準の案 | 参考とすべき基準   | 類型 |
|------|--|----|
|      | <p>(1) <u>「通行止め」、「車両通行止め」、「二輪の自動車以外の自動車通行止め」、「大型貨物自動車等通行止め」、「特定の最大積載量以上の貨物自動車等通行止め」、「大型乗用自動車等通行止め」、「二輪の自動車・原動機付自転車通行止め」、「自転車以外の軽車両通行止め」、「自転車通行止め」、「車両(組合せ)通行止め」、「大型自動車二輪車及び普通自動車二輪車二人乗り通行禁止」、「車両横断禁止」、「転回禁止」、「追越しのための右側部分のみ出し通行禁止」、「追越し禁止」、「危険物積載車両通行止め」、「重量制限」、「高さ制限」、「最大幅」、「最高速度」、「特定の種類の車両の最高速度」、「最低速度」、「原動機付自転車の右折方法(小回り)」、「歩行者通行止め」及び「歩行者横断禁止」を表示するものについては、文字及び記号を青色、斜めの帯及び枠を赤色、縁及び地を白色とする。ただし「最高速度」、「特定の種類の車両の最高速度」及び「最低速度」を表示するものについては、これを灯火により表示する場合には、文字を白色又は黄色、地を黒色とすることができる。</u></p> <p>(2) <u>「車両進入禁止」を表示するものについては、帯及び縁を白色、地を赤色とする。</u></p> <p>(3) <u>「指定方向外進行禁止」、「時間制限駐車区間」、「自動車専用」、「自転車専用」、「自転車及び歩行者専用」、「歩行者専用」、「特定の種類の車両の通行区分」、「牽引自動車の高速自動車国道通行区分」、「専用通行帯」、「普通自転車専用通行帯」、「路線バス等優先通行帯」、「牽引自動車の自動車専用道路第一通行帯通行指定区間」、「進行方向別通行区分」、「原動機付自転車の右折方法(二段階)」、「平行駐車」、「直角駐車」、「斜め駐車」、「警笛鳴らせ」及び「警笛区間」を表示するものについては、文字、記号及び縁を白色、地を青色とする。</u></p> |    |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

| 基準の案 | 参考とすべき基準   | 類型 |
|------|--|----|
|      | <p>(4) 「<u>一方通行</u>」を表示するものについては、<u>記号及び縁線を白色、縁及び地を青色とする。</u></p> <p>(5) 「<u>駐停車禁止</u>」、「<u>駐車禁止</u>」及び「<u>駐車余地</u>」を表示するものについては、<u>斜めの帯及び枠を赤色、文字及び縁を白色、地を青色とする。</u></p> <p>(6) 「<u>車両通行区分</u>」を表示するものについては、<u>文字及び縁線を青色、縁及び地を白色とする。</u></p> <p>(7) 「<u>徐行</u>」及び「<u>前方優先道路</u>」を表示するものについては、<u>文字を青色、枠を赤色、縁及び地を白色とする。</u></p> <p>(8) 「<u>一時停止</u>」を表示するものについては、<u>文字及び縁線を白色、縁及び地を赤色とする。</u></p> <p>4 指示標識</p> <p>(1) 「<u>並進可</u>」、「<u>軌道敷内通行可</u>」、「<u>駐車可</u>」、「<u>停車可</u>」、「<u>優先道路</u>」、「<u>中央線</u>」、「<u>停止線</u>」及び「<u>安全地帯</u>」を表示するものについては、<u>文字、記号及び縁を白色、地を青色とする。</u></p> <p>(2) 「<u>横断歩道</u>」、「<u>自転車横断帯</u>」及び「<u>横断歩道・自転車横断帯</u>」を表示するものについては、<u>記号及び縁線を白色、縁及び地を青色とする。</u></p> <p>(3) 「<u>規制予告</u>」を表示するものについては、<u>記号は、標示板に表示する当該規制標識又は指示標識の種類に応じて別表第2備考一の(三)の3並びに4の(1)及び(2)に規定するところによるものとし、「規制予告(409-A)」を表示するものについては、文字及び縁線を青色、地を白色とし、「規制予告(409-B)」を表示するものについては、文字、道路を表示する記号及び縁を白色、矢印を黒色、地を青色とする。</u></p> <p>(四) 文字の形</p> |    |

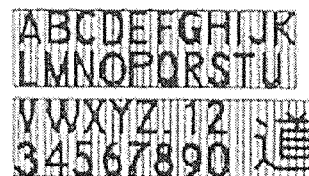
※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

基準の案

参考とすべき基準

類型

文字の形は、次に図示したものを基準とする。



(2) 文字等の大きさ等

ア 寸法が図示されている文字及び記号の大きさは、図示の寸法を基準とする。

イ 案内標識で、「方面、方向及び道路の通称名の予告」、「方面、方向及び道路の通称名」、「著名地点(114-B)」、「待避所」、「駐車場」、「総重量限度緩和指定道路」、「高さ限度緩和指定道路(118の4-A・B)」、「道路の通称名」及び「まわり道」を表示するものの以外のものの文字の大きさは、道路の設計速度に応じ、次の表の右欄に掲げる値(ローマ字にあっては、その2分の1の値)を基準とする。ただし、必要がある場合にあつては、これを1.5倍、2倍、2.5倍又は3倍に、それぞれ拡大することができる。

| 設計速度(単位 キロメートル毎時) | 文字の大きさ(単位 センチメートル) |
|-------------------|--------------------|
| 70以上              | 30                 |
| 40、50又は60         | 20                 |
| 30以下              | 10                 |

(五) 文字等の大きさ等

1 寸法が図示されている文字及び記号の大きさは、図示の寸法を基準とする。

2 高速道路等以外の道路に設置する案内標識で、「入口の方向」、「入口の予告」、「方面、方向及び道路の通称名の予告」、「方面、方向及び道路の通称名」、「著名地点(114-B)」、「非常電話」、「待避所」、「非常駐車帯」、「駐車場」、「登坂車線」、「国道番号」、「都道府県道番号」、「総重量限度緩和指定道路」、「高さ限度緩和指定道路(118の4-A・B)」、「道路の通称名」及び「まわり道」を表示するものの以外のものの文字の大きさは、道路の設計速度に応じ、次の表の右欄に掲げる値(ローマ字にあっては、その2分の1の値)を基準とする。ただし、必要がある場合にあつては、これを1.5倍、2倍、2.5倍又は3倍に、それぞれ拡大することができる。

| 設計速度(単位 キロメートル毎時) | 文字の大きさ(単位 センチメートル) |
|-------------------|--------------------|
| 70以上              | 30                 |
| 40、50又は60         | 20                 |
| 30以下              | 10                 |

参考すべき基準

参考すべき基準

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

| 基準の案  | 参考とすべき基準  | 類型             |
|---|---|----------------|
| <p>ウ 「方面、方向及び道路の通称名の予告」及び「方面、方向及び道路の通称名」を表示する案内標識については、矢印外の文字の大きさは、7の規定によるものとし、矢印中の文字の大きさは、矢印外の文字の大きさの0.6倍の大きさとする。</p>  | <p>3 「方面、方向及び道路の通称名の予告」及び「方面、方向及び道路の通称名」を表示する案内標識については、矢印外の文字の大きさは、2の規定によるものとし、矢印中の文字の大きさは、矢印外の文字の大きさの0.6倍の大きさとする。</p>  | <p>参酌すべき基準</p> |
| <p>エ 「著名地点(114-B)」を表示する案内標識の文字の大きさは、10センチメートルを標準とする。</p>  | <p>4 「著名地点(114-B)」を表示する案内標識の文字の大きさは、10センチメートルを標準とする。</p>  | <p>参酌すべき基準</p> |
| <p>オ 「市町村」並びに「方面及び方向の予告」、「方面及び方向」、「方面、方向及び道路の通称名の予告」、「方面、方向及び道路の通称名」、及び「著名地点」を表示する案内標識に、それぞれ市町村章、及び公共施設等の形状等を表す記号を表示する場合の当該記号の大きさは、日本字の大きさの1.7倍以下の大きさとする。</p> | <p>5 「市町村」、「都府県」並びに「<u>方面、方向及び距離</u>」、「<u>方面及び距離</u>」、「<u>方面及び車線</u>」、「<u>方面及び方向の予告</u>」、「<u>方面及び方向</u>」、「<u>方面、方向及び道路の通称名の予告</u>」、「<u>方面、方向及び道路の通称名</u>」、「<u>方面及び出口の予告</u>」、「<u>方面、車線及び出口の予告</u>」、「<u>方面及び出口</u>」及び「著名地点」を表示する案内標識に、それぞれ市町村章、<u>都府県章</u>及び公共施設等の形状等を表す記号を表示する場合の当該記号の大きさは、日本字の大きさの1.7倍以下の大きさとする。</p> | <p>参酌すべき基準</p> |
| <p>規定対象外</p>  | <p>6 <u>都市高速道路等に設置する「方面及び方向」を表示する案内標識に路線を表す記号を表示する場合の当該記号の大きさは、経由路線を表す記号については日本字の大きさの1.6倍以下、方面としての路線を表す記号については日本字の大きさの0.9倍以下の大きさとする。</u></p>  | <p>参酌すべき基準</p> |
| <p>カ 「駐車場」を表示する案内標識に便所を表す記号を表示する場合の当該記号の大きさは、駐車場を表示する記号の0.7倍以下の大きさとする。</p>  | <p>7 <u>高速道路等以外の道路に設置する「駐車場」を表示する案内標識に便所を表す記号を表示する場合の当該記号の大きさは、駐車場を表示する記号の0.7倍以下の大きさとする。</u></p>  | <p>参酌すべき基準</p> |
| <p>主 縁、縁線及び区分線の太さは、次の寸法を基準とする。</p>  | <p>8 縁、縁線及び区分線の太さは、次の寸法を基準とする。</p>  | <p>参酌すべき基準</p> |
| <p>(ア) 案内標識</p>   | <p>(1) 案内標識</p>   | <p>参酌すべき基準</p> |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

| 基準の案   | 参考とすべき基準   | 類型  |
|--|--|---|
| <p>縁は、「待避所」、「駐車場」及び「まわり道(120-B)」を表示するものについては9ミリメートル、「総重量限度緩和指定道路(118の3-A・B)」及び「高さ限度緩和指定道路(118の4-A・B)」を表示するものについては16ミリメートル、「道路の通称名」を表示するものについては8ミリメートル、その他のものについては日本字の大きさの20分の1以上の太さとし、縁線及び区分線は、日本字の大きさの20分の1以上の太さとする。</p> <p>(イ) 警戒標識<br/>縁及び縁線は、12ミリメートルとする。</p> <p>規定対象外</p> <p>規定対象外</p> <p>規定対象外</p> | <p>縁は、<u>高速道路等以外の道路に設置するもので、「待避所」、「駐車場」及び「まわり道(120-B)」を表示するものについては9ミリメートル、「国道番号(118-A)」、「都道府県道番号(118の2-A)」、「総重量限度緩和指定道路(118の3-A・B)」及び「高さ限度緩和指定道路(118の4-A・B)」を表示するものについては16ミリメートル、「登坂車線」を表示するものについては10ミリメートル、「国道番号(118-B・C)」、「都道府県道番号(118の2-B・C)」及び「道路の通称名」を表示するものについては8ミリメートル、その他のものについては日本字の大きさの20分の1以上の太さとし、縁線及び区分線は、日本字の大きさの20分の1以上の太さとする。</u></p> <p>(2) 警戒標識<br/>縁及び縁線は、12ミリメートルとする。</p> <p>(3) 規制標識<br/><u>縁は15ミリメートルとし、縁線は「一時停止」及び「車両通行区分」を表示するものについては15ミリメートル、「一方通行」を表示するものについては12ミリメートルとする。</u></p> <p>(4) 指示標識<br/><u>縁は、「横断歩道」、「自転車横断帯」及び「横断歩道・自転車横断帯」を表示するものについては12ミリメートル、「規制予告(409-B)」を表示するものについては9ミリメートル、その他のものについては15ミリメートルとし、縁線は12ミリメートル、「規制予告(409-B)」を表示するものについては9ミリメートルとする。</u></p> <p>(六) 車両の種類略称<br/><u>規制標識に車両の種類を記載するときは、次の表の上欄に掲げる車両について、それぞれ同表の下欄に掲げる略称を用いることができる。</u></p> | <p>参酌すべき基準</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

| 基準の案 | 参考とすべき基準 | 類型   |
|------|----------|------|
|      | 車        | 略称   |
|      | 大        | 大型   |
|      | 大        | 大型等  |
|      | 中        | 中型   |
|      | 特        | 特定中型 |
|      | 普        | 普通   |
|      | 大        | 大特   |
|      | 大        | 自二輪  |
|      | 長        | 軽    |
|      | 小        | 小特   |
|      | 原        | 原付   |
|      | 二        | 二輪   |
|      | 道        | 二輪   |
|      | 普        | 自転車  |
|      | トロ       | トロリー |
|      | 専        | 乗用   |
|      | 大        | 大乗   |
|      | 中        | 中乗   |
|      | 特        | 特定中乗 |
|      | 大        | バス   |
|      | 乗        | 大型バス |
|      | 大        | マイクロ |
|      | 道        | 路線バス |
|      | 普        | 普乗   |
|      | 道        | タクシー |
|      | 大        | 貨物   |
|      | 大        | 大貨   |
|      | 大        | 大貨等  |
|      | 中        | 中貨   |
|      | 特        | 特定中貨 |
|      | 普        | 普貨   |
|      | 重        | けん引  |
|      | 高        | 標章車  |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

| 基準の案  | 参考とすべき基準  | 類型                      |
|---|---|-------------------------|
| <p>2 補助標識板(補助標識の標示板をいう。)の寸法<br/>規定対象外</p> <p>1 図示の寸法を基準とする。</p> | <p>二 補助標識板(補助標識の標示板をいう。)</p> <p>(一) 表示</p> <p>1 <u>補助標識(「車両の種類(503-D)」、「駐車時間制限」、「始まり(505-B・C)」、「区域内」、「終わり(507-B～D)」、「通学路」、「追越し禁止」、「前方優先道路」、「踏切注意」、「横風注意」、「動物注意」、「注意」、「始点」及び「終点」を表示するものを除く。)</u>に係る図示の文字及び記号(「車両の種類(503-C)」にあつては、「3」に限る。)は、例示とする。</p> <p>2 <u>「日・時間」を表示する補助標識において国民の祝日に関する法律に規定する休日を示す場合にあつては、「休日」と表示する。</u></p> <p>3 <u>「日・時間」に係る図示の「8-20」は、8時から20時までであることを示す。</u></p> <p>4 <u>「車両の種類(503-B)」を表示する補助標識の標示板の記号は、「二輪の自動車以外の自動車通行止め」、「大型貨物自動車等通行止め」、「大型乗用自動車等通行止め」、「二輪の自動車・原動機付自転車通行止め」、「自転車以外の軽車両通行止め」及び「自転車通行止め」を表示する規制標識に係る図示の記号(当該記号の鏡像である記号を含む。)を用いるものとし、その記号は当該規制標識が表示する通行の禁止に係る種類の車両を表示するものとする。</u></p> <p>5 <u>「車両の種類(503-C)」を表示する補助標識の標示板に示される重量の単位は、トンとする。</u></p> <p>(二) 寸法</p> <p>1 図示の寸法を基準とする。</p> | <p>—</p> <p>参酌すべき基準</p> |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

| 基準の案   | 参考とすべき基準  | 類型             |
|--|---|----------------|
| <p>2 補助標識は、その附置される本標識板の拡大率又は縮小率と同じ比率で拡大し、又は縮小することができる。</p> | <p>2 補助標識は、その附置される本標識板の拡大率又は縮小率と同じ比率で拡大し、又は縮小することができる。</p>  | <p>参酌すべき基準</p> |
| <p>規定対象外</p>   | <p>(三) 色彩</p>   | <p>—</p>       |
| <p>規定対象外</p>   | <p>1 <u>地を白色、矢印を用いるときはこれを赤色又は黒色、文字又は矢印以外の記号を用いるときはこれを黒色とする。ただし、「車両の種類(503-D)」を表示する補助標識については地を淡い黄色、文字を黒色とし、「終わり(507-C)」を表示する補助標識については、斜めの帯及び枠を青色、縁及び地を白色とする。</u></p> | <p>—</p>       |
| <p>規定対象外</p>   | <p>2 <u>高速道路等に設置する案内標識に附置する場合には、1の本文の規定にかかわらず、文字及び矢印を緑色、地を白色とする。</u></p>  | <p>—</p>       |
| <p>規定対象外</p>   | <p>3 <u>灯火により表示する場合において、別表第2備考一の(三)の3の(1)のただし書の規定による色彩を用いた規制標識に附置するときには、1の本文の規定にかかわらず、文字及び記号を白色又は黄色、地を黒色とすることができる。</u></p>  | <p>—</p>       |
| <p>規定対象外</p>   | <p>(四) 文字の形</p> <p><u>一の(四)を準用する。</u></p>   | <p>—</p>       |
| <p>規定対象外</p>   | <p>(五) 車両の種類略称</p> <p><u>車両の種類を表示するときは、一の(六)の規定に準じて略称を用いることができる。</u></p>  | <p>—</p>       |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。



| 基準の案  | 参考とすべき基準   | 類型 |
|-------|--|----|
| 規定対象外 | <p><b>三 柱</b></p> <p>(一) 寸法<br/> <u>図示の寸法を基準とする。ただし、「著名地点(114-B)」を表示する案内標識を設置する場合には、必要があるときは、路面から標示板の下端までの高さを100センチメートルまで低くすることができる。</u></p> <p>(二) 色彩<br/> <u>原則として、灰色又は白色とする。</u></p>  | —  |
| 規定対象外 | <p><b>四 その他</b></p> <p>(一) 取付け方等</p> <p>1 <u>本標識板及び補助標識板の取付け方は、図示の取付け方を基準とする。ただし、必要があり、かつ、適当と認められる場合においては、次の図の例によることができる。</u></p> <div data-bbox="1232 893 1747 1133" data-label="Diagram"> </div> <p>2 <u>同一場所に2以上の道路標識を設置する場合には、その本標識板及び補助標識板を1の柱に取り付けることができる。</u></p> | —  |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。

| 基準の案 | 参考とすべき基準   | 類型 |
|------|--|----|
|      | <p>3 <u>2により1の柱に2以上の本標識板が上下に取り付けられる場合で、それぞれの本標識が表示する禁止、制限又は指定の区間の終わりを「終わり(507-C)」を表示する補助標識によって示す必要があるときは、下方の本標識に係る補助標識は省略するものとする。</u></p> <p>4 <u>道路標識を設置する場合において、1から3までの規定によって設置することが適当でない認められるときは、標示板を信号機、電柱その他工作物に取り付けることができる。</u></p> <p>5 <u>区域を定めて行う交通の規制を表示する道路標識(以下「区域規制標識」という。)を設置する場合には、当該区域規制標識に白色又は灰色の長方形の背板を設けることができる。</u></p> <p>6 <u>5により1の背板を設けて2以上の区域規制標識を上下に設置する場合で、それぞれの区域規制標識に係る本標識が表示する禁止、制限又は指定の区域の始まり、区域内又は区域の終わりを「始まり(505-C)」、「区域内」又は「終わり(507-D)」を表示する補助標識によって示す必要があるときは、当該本標識のうち上方のものに係る補助標識は省略するものとする。</u></p> <p>7 <u>可変式の道路標識を設置する場合には、当該道路標識に白色又は灰色の正方形又は長方形の背板を設けることができる。</u></p> <p>(二) <u>反射材料等</u><br/> <u>道路標識には原則として反射材料を用い、又は反射装置若しくは夜間照明装置を施すものとする。</u></p> |    |

※なお、参考とすべき基準と異なる箇所については、下線・太字で表示しています。